

令和6年第3回定例会(令和6年9月25日)

予算決算特別委員会委員長 (市原 隆生 委員長)

去る9月5日の本会議において、予算決算特別委員会に付託を受けました『議第89号 令和5年度別府市一般会計歳入歳出決算の認定について』から『議第97号 令和5年度別府市公共下水道事業会計決算の認定について』までの計9議案について、審査の経過並びに結果についてご報告申し上げます。

「当初予算審議」と「決算認定審査」の循環性を保つため、本委員会では、予算の執行や各事業が適正かつ効果的に行われているかを検証し、将来の財政運営や、翌年度の当初予算編成へ反映させることを目的として、本年度も、慎重かつ適正な審査を実施いたしました。

委員会審査初日の9月9日においては、執行部の総括説明を受けた後、委員3名による総括審査を実施いたしました。

また、10日には、委員4名、翌11日には委員4名による個別審査を実施し、9月12日に採決を行ったところであります。

以上、議第89号から議第97号までの計9議案については、94項目の審査通告に基づき、審査をいたしました結果、一部の委員から反対の意思表示がなされましたが、次の意見を付して、認定すべきものと決定いたしました。

1. 経常収支比率について

経常収支比率は、平成28年度以降コロナ禍の令和3年度を除き順調に下がってきたが、令和5年度の経常収支比率は97.1%で、前年度より1.0ポイント上昇している。

財政の硬直化を招くことのないよう、持続可能な財政基盤の強化とともに、限られた資源と人材を最大限活用し、最少の経費で最大の効果が得られるよう十分に検証しながら、行財政運営の適正化及び効率化に向けた更なる取組を進めることを求める。

2. 入湯税超過課税の使途について

入湯税超過課税分の使途については、温泉資源の保護、別府観光の推進の為に使うことが必要である。超過課税分充当事業の実施後は審議会の事業評価・意見をもとに、各事業の課題等を明確にし、別府の経済を支える観光振興の魅力向上を図るとともに、市民福祉の増進へつながるよう、さらなる好循環を生む仕組み作りに取り組むことを求める。

3. 重層的支援体制整備事業について

本事業は地域共生社会の実現に向けて、「子ども・高齢・障がい・生活困窮」の関係分野が連携し、市全体で包括的な支援体制を構築することにより、属性や世代を問わない相談支援、参加支援及び地域づくりに向けた3つの支援を一体的に実施するものであり、令和8年度から本格実施の予定となっている。

実施する際は、「子ども・高齢者・障がい者・生活困窮者」が抱える従来の制度だけでは対応が困難な複雑化・複合化した問題に対し、断らない相談支援体制を構築することを求める。

4. 補助及び交付金の公益性、公平性、有効性についての評価と周知

補助事業の実施においては、公益性・公平性・有効性に対する効果検証が重要である。

事業終了後に、成果と目標に対する達成度の評価、公平性を図るための審査、費用対効果の検証に努めることを求める。また、民間事業者対象の補助事業で、新規のものに関しては、補助制度の丁寧な説明と周知を求める。

5. 人材の確保等について

人口減少・超高齢化社会により、地方行政の人材確保は、より困難になるものと想定される。

特に、子育て支援や介護、学校教育の人材については、専門知識の必要性が増す中で、求められるサービスも増加するものと考えられる。

その必要性を鑑み、正規の専門職の人材確保及び育成充実を図ることを求める。併せて、きめ細やかなサービスを提供するために、関係団体とのネットワークを強化し、相互の情報共有と情報収集が強化される体制の構築を求める。

6. 行財政構造改革の推進について

本市の財政状況は、少子高齢化・人口減少による社会保障費の増大や公債費、公共施設の維持管理固定費の増加等により一層厳しくなると見込まれる。

例えば、市営住宅では築年数の経過した建物において居住者が高齢化しているがエレベーターがない等、大規模改修が必要な状況が生じている。また、市営墓地でも無縁墓の増加等の問題があり、いずれも市が今後も直営維持するのか民間事業を活用するのか検討すべき時期となっている。

行財政構造改革の推進には市民の理解と協力が不可欠である。丁寧な説明や対話を重ねながら本市における行財政運営上の課題解決を図り、新たな施策や臨時の財政需要に対応できる行財政構造の構築に努めるとともに、安定した質の高い行政サービスを提供していくよう引き続き努めることを求める。

最後に、各事務事業を行うにあたっては、事業内容の精査・費用対効果の検証を十分に行い、本意見書及び委員会での意見を令和7年度の当初予算編成に反映することを要望するとともに、予算審議と決算審査の循環性を図るため、令和7年（令和6年度決算認定審査）予算決算特別委員会において、その取組についての回答を求める。

以上、当委員会に付託を受けました議案9件に対する意見と審査結果の報告を終わります。

何とぞ、議員各位のご賛同をお願いいたします。